



みどりの風

平成25年3月1日発行
校報 第495号
〔みどりの風 第38号〕
練馬区立関町北小学校

思いを言葉に、そして、言葉を行動に

校長 大野 泰弘

先月21日に行った道徳授業地区公開講座では、平日にもかかわらず、多くの皆様に本校の道徳の授業を参観していただき、有難うございました。当日は、特別講演として、アランタ、シドニー、アテネ、北京の4回のパラリンピック大会に連続出場し、あわせて20個のメダル(金15個・銀3個・銅2個)を獲得された「水の女王」、成田真由美さんにお越しいただき、「夢に向かって - 水泳が教えてくれたこと - 」と題して、子どもたちにお話をいただきました。

成田さんのお話の中には、例えば、病気になって障害をもったことで辛いこともあったけれども、それ以上にたくさんの出会いがあり、多くの人に支えられていることに幸せを感じていること、ささやかなきっかけで水泳と出会い、その楽しさにふれたこと、三角形の底辺を練習に、頂点を目標に見立て、いつも目標をもち、あきらめずに練習を続ける大切さ、親友でもありライバルでもあったカイ選手の墓前に、カイ選手の得意種目でとった金メダルを捧げたこと、体の不自由な人を見かけたら、勇気を出して「お手伝いしましょうか」と声をかけるやさしさが大事であることなど、子どもたちの心に響くだけでなく、その場にいらしゃった保護者や地域の方の心を動かし、涙を誘うすばらしい内容に満ちていました。

そして、もう一つ、成田さんご講演の後、心温まるお話を伺うことができました。

当日、成田さんのお知り合いで、本校の近くにお住まいの長瀬志津子様というご年配の女性が、「せっかくの成田さんの講演会なので」ということで、本校にお見えになったときのことで。長瀬様のお子様は、本校の卒業生なのだそうで、その日はシルバーカーを押しながら、とても懐かしいお気持ちで学校にいらしゃいました。

後日、長瀬様から頂いたお手紙の一節をご紹介します。そのときのことが記されています。

〔前略〕 「体育館は？」と尋ねました生徒さんに思いもかけぬ親切ないたわりで案内していただき、汚れなき魂に触れた思いで、心が洗われるような嬉しさを覚えた次第でございました。平素は小学生と会話することも全くありませんので、その澁刺と明るい気働きに唯々驚き、何度お礼を申しても言い足りない気が致しました。子育てからはるかに遠ざかってしまった今も、すぐ近くの学校に若い命が学んでいること、その親御さんや先生のことなどに改めて思いが及びました。成田さんも他への思いやりの心をお話しておられ、まさにそれを事前に実行してくれた生徒さんだったと一層感慨深いものがありました。あの2人の他の誰かに尋ねたとしても、きっと同じようにしてくださったのではないかと思います。久しぶりに訪れた学校に満ち溢れる活気は、老いの心に灯をともしてくれ、ここで育った二人の子の40数年前にはPTAの一員だったことを思い出させてくれました。〔後略〕

この2人の子は、長瀬様に気付き、「こんにちは！ どうしましたか？」と声をかけ、長瀬様の荷物を持ち、脱いだ靴をそろえ、体育館まで案内し、そして、「スーブの近くのほうが暖かいですよ」と誘導し、集合時間に入ってきたときには「もうすぐ始まりますよ」と声をかけたのだそうです。その2人の子は、5年生の I 君と U 君でした。

成田さんのお話を聞いて実行することも大事ですが、そのお話を伺う前に成田さんが話された「困っている人がいたら声をかけ、やさしくしてください」ということを実践していた子が本校に在籍していることが嬉しく、誇りに思えます。

そして、このことに対する成田さんからのお返事もいただきました。

「この2人の5年生、きっとこれからの人生の中で、『人に親切にできる』自信をもってくれたでしょうね。それもためらわずに…。素敵です。素晴らしいですね。私からも、本当にありがとう。『優しい人になってください』と講演会で言ったけれど、もう実践してくれていましたね。」とお話したいです。」

さて、その成田さんからの宿題は、「今日の話をも3人の人に伝えてください」ということでした。ご家庭で、お子さんから成田さんのお話を聞かれましたでしょうか。

私は、本校には、他にも似た行いをしている子、それができる子、しようと思っている子に溢れていると信じています。

心に思ったことや感じたことを言葉に表し、言葉だけでなく具体的な行動に移していく、そして、その行動が人のためになる、人に喜びや希望を与える、そんな勇気ある姿を体現できる子どもたちを来年度も育てていきたい、とあらためて感じています。それが学校や家庭の役割であるとも思います。

今年度の皆様のご理解とご協力に感謝申し上げますとともに、来年度もご支援のほどよろしくお願い申し上げます。